

## 後書き

本ガイドブックは、新潟中越・中越沖地震の復旧・調査に当たった者が新潟震災復興研究会として集まり、今回の経験を記憶に止め、今後起こりうる災害に備えることを目的として作成しました。本研究会には、行政の現場担当者や災害直後から共同調査をした県外研究者、新潟大学の卒論研究で調査を共にした学生諸君を含めて多様なメンバーに参加いただきました。

執筆・編集作業は日常業務と並行して行わねばならなかったのですが、研究会の諸氏、新潟県、新潟大学災害復興センターのご協力を得て今回の取りまとめに漕ぎ着けることができました。改めて関係機関・各位にお礼を申します。

本書は、研究会における課題を整理し、意見をまとめたもので、ガイドブックとしては途中経過です。これは、本書の読者によって今後も改められ、再編されることによって、災害対応における知恵の共有に繋がるものと思われます。本書が、今後も書き加えられ、書き換えられることによって、多くの現場担当者の座右にあることを願っています。

本書をまとめるに当たって、被災地の小千谷市・川口町・長岡市のほか、多くの関係者の方から調査協力や資料提供等の便宜を受けました。ここでお世話になった各位のお名前を挙げることは紙幅の関係上できませんが、本書の上梓をもってお礼に代えさせていただきます。

研究会代表

新潟大学・有田 博之

2009年10月

### 研究会メンバー

■行政関係： 篠原 巧・五井野 操・玉井英一・坂口光男・斎藤 覚・坪谷 満・西方 満・藤田 淳・小野塚 忍・松尾勝則・藤村一平・河村智幸・小川 守・関川 力・関 正幸・重住道夫・太田一夫・内藤 宏・沖田 悟・細貝知広・志賀智和・荒木正一・飯田茂敏・種岡政敏・小林竜也・風間十二朗・金子 均・宮島正人・宮里圭一・久保田季樹・石山宏之・高橋紀男・星野綾子・樋口正弘・佐藤浩一・清水俊久・榎本信之（順不同）

■研究機関・大学： 内川義行・木村和弘（信州大学）・小林 久（茨城大学）・坂田寧代（石川県立大学）・武山絵美（愛媛大学）・山中 稔（香川大学）・橋本 禅（京都大学）・福與徳文（農村工学研究所）・星川和俊（信州大学）・森下一男（香川大学）・毛利栄征（農村工学研究所）吉田貢士（茨城大学）（50音順）  
森井俊廣・榎田 豊（新潟大学）・中村真吾・樋山和恵・湯澤顕太・米山 純（卒論学生）

■事務局：有田博之・三沢眞一・吉川夏樹（新潟大学）

本書は、平成17・18年度農林水産省農林水産研究高度化事業・課題番号1739、平成18～21年度文部科学省科学研究費・課題番号19380135、新潟県災害復興基金の助成を得て進めた研究成果をもとに作成した。



